

# 日本NIE学会会報

第 36 号

[発行所] 日本NIE学会事務局

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 横浜国立大学教育人間科学部 重松克也研究室内

TEL/FAX : 045-339-3433 E-mail : jssnie2005@gmail.com

## 日本 NIE 学会第 14 回宇治大会のご案内（一次案内）

### 大会テーマ：地域連携と NIE の可能性

### — 「社会に開かれた教育課程」を見据えて—

日本NIE学会会長 阪根 健二

第14回宇治大会実行委員長 橋本 祥夫

向暑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと推察申し上げます。

このたび、日本 NIE 学会第 14 回全国研究大会を、京都府宇治市の京都文教大学にて開催することとなりました。

次期学習指導要領の改訂案が告示され、各教育委員会や学校では、それに向けた対応に追われているところだと思います。今回の改訂の理念の一つに、「社会に開かれた教育課程」の実現があります。中教審の論点整理では、「社会に開かれた教育課程」として、以下の3点をポイントに挙げています。

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと
- ② これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育ていくこと
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること

以上の視点に立ったとき、NIE が果たすべき役割は何でしょうか。①については、新聞を通じて社会や世界の状況を理解し、考え、学校と社会がよりよい社会を創り出すという目標を共有していくことはできないでしょうか。②については、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を、新聞だからこそ育成できるのではないのでしょうか。③については、新聞社が持つ人的・物的資源を活用することにより、学校と社会との連携をさらに促進することはできないでしょうか。

本大会では、「地域連携と NIE の可能性— 「社会に開かれた教育課程」を見据えて—」としました。これまで各新聞社は、地域の実態に合わせて学校と様々な連携をし、NIE を推進してきました。また、地域への情報発信という視点をこれまで新聞社は大事にしています。これまでの新聞社の取組、NIE の実践を地域連携の視点から見直し、「社会に開かれた教育課程」にどのように結び付けていけるのか、会員の皆様と共に議論を深められればと考えています。

皆様の本大会へのご参加を、心よりお待ちしております。

## I 大会要項

主催 日本 NIE 学会

後援 京都市教育委員会 京都府教育委員会 宇治市教育委員会  
京都市小学校 NIE 実践研究会 京都市中学校新聞教育研究会  
京都府 NIE 推進協議会 (申請予定)

1 期日 平成 29 年 (2017) 年 11 月 25 日 (土) ~ 26 日 (日)

2 会場 京都文教大学

(〒 611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80 京都文教大学キャンパス構内)

3 参加費

大会参加費：事前申し込みは 3,000 円, 当日申し込みは 3,500 円

学生・院生は 1,000 円

情報交換会 (懇親会) 参加費：5,000 円 (会場の設営上, ご予約をお願いいたします。人数に余裕がある場合に限り, 当日受付を申し受けます。)

4 テーマ 「地域連携と NIE の可能性—「社会に開かれた教育課程」を見据えて—」

5 日程

第 1 日目 11 月 25 日 (土)

11:00 11:30 12:30 13:30 15:30 15:45 18:00 18:15 19:45

理事会 受付	理事会 一般受付	総会 弘誓館 G101	シンポジウム 「地域と結ぶ NIE の 可能性」弘誓館 G101	移 動	研究分科会①② 普照館 F301・F303 ワークショップ 「新聞カフェ」 普照館 F304	移 動	懇親会 (懇親会) 恵光館 学生食堂
-----------	-------------	-------------------	--	--------	--	--------	-----------------------------

第 2 日目 11 月 26 日 (日)

8:30 9:00 12:00

受付	自由研究発表 普照館
----	---------------

## II 大会概要

### ○ 11 月 25 日 (土)

理事会 11:30 ~ 12:30 (光暁館第一会議室)

総会 12:30 ~ 13:30 (弘誓館 G101)

シンポジウム 13:30 ~ 15:30 (弘誓館 G101)

テーマ：「地域と結ぶ NIE の可能性」

シンポジウムの趣旨：

NIE は教育 (界) と新聞 (社) が互いに連携しながら教育活動を進めていくところにある。本大会のテーマである「地域連携と NIE の可能性—社会に開かれた教育課程を見据えて—」を基調にシンポジウムでは地元紙をはじめとする新聞 (社) と教育現場がどのように連携して地域社会を形成しているかを具体的な試みから他地域でも共有できるかどうかを検討し, 考えてみたい。主な視点と

しては、①地元の新聞（社）と教育現場がどのように協力しながらNIEが行われているか、②地域社会のなかで新聞をどのように活用しているか（新聞社の協力をどのように得ているか）、③次期学習指導要領など教育課程につながる課題等を検討してみたい。同時にそこから浮かび上がってくる新聞界と教育界が抱える課題を整理しつつ、地域と結びついたNIEの可能性について考えてみたい。

コーディネーター：柳澤伸司（立命館大学）

シンポジスト

越地真一郎（熊本日日新聞社・熊本大学）

田口紘子（鹿児島大学）

畑光一（信濃毎日新聞社）

宮沢之祐（京都府長岡京市立長岡中学校教諭・元神戸新聞記者）

## 研究分科会 15:45～18:00

### ① 地域連携とNIE（普照館 F303）

コーディネーター：橋本祥夫（京都文教大学）

NIEの代表的な活動の一つである新聞づくり。学校では、学習したことをまとめた学習新聞をつくるのがよくあるが、新聞記者となって自分で取材し、疑問に思ったことや感じたことなどを記事にし、地域に発信する新聞づくりもある。近隣地域を歩き観察することで、フィールドワークの技法を身につけ、地域を理解するとともに、新たな視点や地域の資源や魅力に気付く。このような新聞づくりは、地域への取材を通して、課題発見能力を身につけるとともに、それを「自分事」と捉え、「何をすべきか」「何ができるか」を考え、行動に結びつけるシティズンシップの涵養に寄与する。本研究分科会では、小学生、中学生、高校生、大学生、それぞれの段階で、地域を取材する新聞づくりの活動を比較し、どのような資質・能力が育成できるのかを議論したい。また、新聞社の地域と連携した取り組みについても交流していきたい。

### ② 主権者教育とNIE（普照館 F301）

コーディネーター：平石隆敏（京都教育大学）

選挙権年齢の18歳引下げにともない一斉に主権者教育への取組みがなされた。しかし、選挙や投票の仕組みの学習にとどまりがちで、また高等学校以外への広がりも見えないように感じられる。その一つの原因は主権者教育の焦点が国政や選挙にかたよりすぎることではないか。むしろブレイク・スルーの鍵は「地域」にある。自分たちが生きる身近な公共的世界である地域社会から出発することで、自分事として社会の課題を発見し、解決を模索する社会の形成者を育てる主権者教育がより豊かなものとなりうるのではないか。そしてこうした学習は、まさにこれまでNIEが実践を積み重ねてきたものでもある。本研究分科会では、こうした問題意識から、小学校・中学校での実践を手がかりにして今後の主権者教育の可能性について考えていきたい。

報告者の選定や進行などの運営はコーディネーターが行います。報告者は、発表要旨原稿、スライド、レジュメなどを用いて発表を行います。報告者は、発表要旨原稿を提出してください。会場には、PC、スクリーン、液晶プロジェクタが備えつけられています。USBにデータを入れて持参してください。また、OHC、DVDプレーヤー、Blu-rayプレーヤーが使用できます。

**ワークショップ「新聞カフェ」 15:45～18:00**（普照館 F304）

コーディネーター：市川正孝（愛知教育大学）

各地で始まっている「新聞カフェ」。新聞を愉しみながら語り合う、誰もが参加できる新聞を用いたワークショップを行う。シンポジストで登壇された越地氏をはじめ、新聞社からの参加を得て、新聞で／について考え、語ってみたい。

**情報交換会（懇親会） 18:15～19:45**（恵光館・学生食堂）

○ **11月26日（日）**

**自由研究発表 9:00～12:00** 普照館

例年通りの口頭発表スタイルでの自由研究発表です。発表者は分科会ごとに、発表20分・質疑応答10分の枠内でのスライドやレジュメを用いて研究発表を行います。発表要旨原稿を事前に提出してください。会場には、PC、スクリーン、液晶プロジェクタが備えつけられています。USBにデータを入れて持参してください。また、OHC、DVDプレーヤー、Blu-rayプレーヤーが使用できます。

### Ⅲ 自由研究発表の申し込み

自由研究発表申込は、今回は Web にて受け付けます。

日本NIE学会ホームページ（<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~care/NIE/>）のトップ画面にある「第14回宇治大会発表申込はこちら」ボタンよりお申込みください。

申込締切は **8月1日（火）** です。

自由研究発表とは別に、必ず大会参加登録をお願いします。

なお、発表申込業務については、株式会社コムラへ委託しております。

---

問い合わせ先

※発表申込業務については、株式会社コムラへ委託しております。

株式会社コムラ 担当：後藤・可知・関谷

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぶりとぴあ3

E-mail：nie14@kohmura.co.jp [ @は半角にして下さい ]

TEL：058-229-5858

---

### Ⅳ 発表要旨原稿（自由研究発表・シンポジウム・研究分科会）

① **提出締め切り：9月12日（火）**

② **書式**：A4用紙1枚以内（発表者に改めて連絡いたします。）

電子メールアドレスを記入された発表者には、発表要旨原稿の様式ファイル（JUST System 一太郎、Microsoft Word）を電子メールへ添付して送付いたします。

③ **送付方法**：次の a、b のいずれかの方法で、お願い申し上げます。

- a) 日本NIE学会第14回宇治大会実行委員長の電子メール  
y-hashimoto@po.kbu.ac.jp へ提出  
「添付ファイル」(一太郎, Word)にてご送信ください。(一部レイアウトが原本と異なる  
場合もありますが、作業の簡略化のため、この提出方法にご協力ください。)
- b) 電子メールの送付が難しい場合は、プリントアウト原稿を郵便にてご提出ください。送付  
していただいた原稿をそのまま印刷いたします。

#### 自由研究発表問い合わせ先・発表要旨原稿送付先

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80

京都文教大学臨床心理学教育福祉心理学科

日本NIE学会第14回宇治大会実行委員会 橋本祥夫 宛

TEL: 0774-25-7824 (橋本祥夫)

Fax: 0774-25-2409 (学部共用)

E-mail: y-hashimoto@po.kbu.ac.jp

## V 大会参加登録 集金

大会参加登録は、今回は Web にて受け付けます。

日本NIE学会ホームページ (<http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~care/NIE/>) のトップ画面にある「第14回宇治大会事前参加登録はこちら」ボタンよりご登録ください。

登録締切は **10月23日(月)** です。

自由研究発表をされる方も、必ず大会参加登録をお願いします。

参加登録後、**10月30日(月)**までに参加費をお振込ください。

参加の申し込みおよび参加費の振込みの両方が完了した時点で事前登録完了となります。

期限内に参加費の振込みをされなかった方については、当日申し込みの参加費となります。

なお、大会参加登録・集金業務については、株式会社コムラへ委託しております。

#### 振込先

・郵便局からの振替の場合

【加入者名】株式会社コムラ

【口座記号番号】00860-2-188506

・他の金融機関からの振込の場合

【銀行名】ゆうちょ銀行

【店名】〇八九店(ゼロハチキユウ店)

【店番】089

【預金種目】当座

【口座番号】0188506

【口座名称】株式会社コムラ

※ お振込後に参加をキャンセルされた場合、お振込いただいた費用は返金いたしかねますので何卒ご了承ください。

※ 大会参加費、情報交換会(懇親会)参加費の領収書は、大会当日、受付にてお渡しします。

問い合わせ先

※ 大会参加登録・集金業務については、株式会社コムラへ委託しております。

株式会社コムラ 担当：後藤・可知・関谷

〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ふりとぴあ3

E-mail：nie14@kohmura.co.jp [@は半角にして下さい]

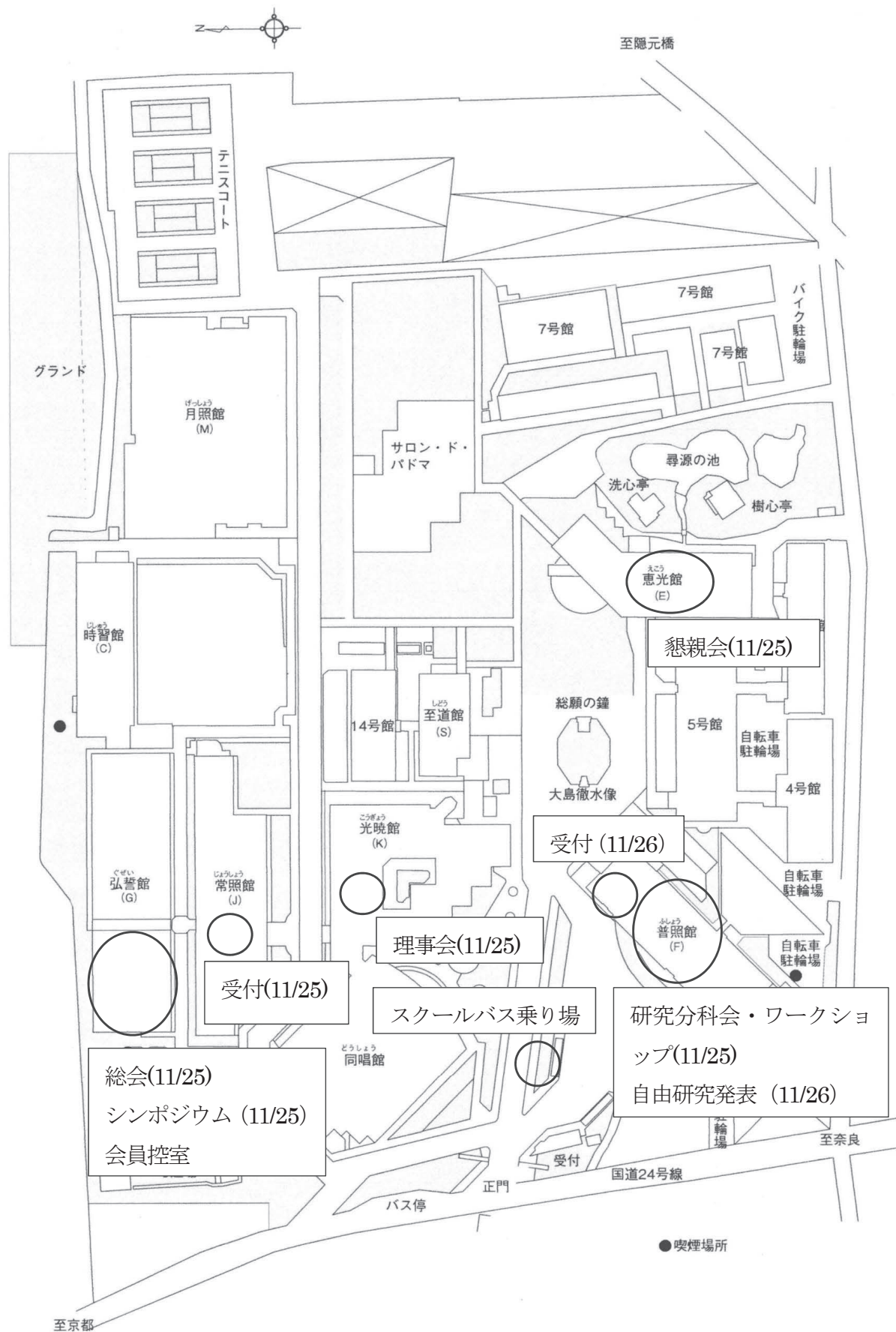
TEL：058-229-5858

---

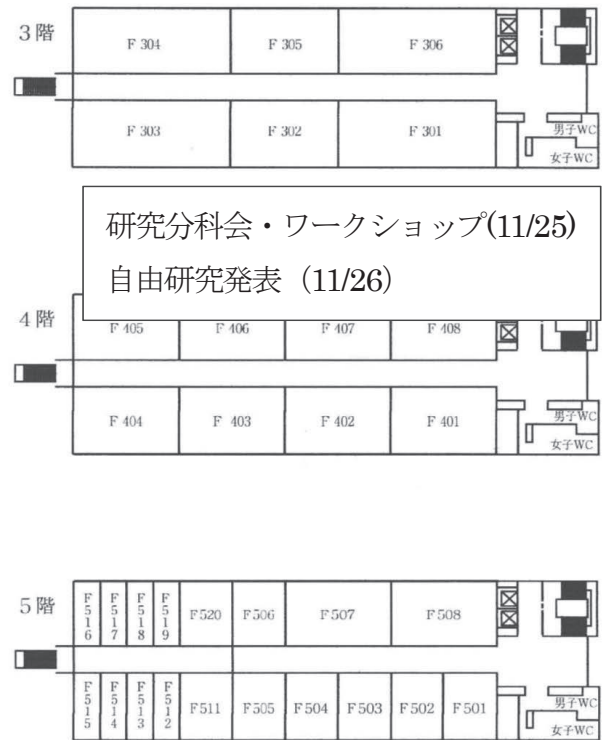
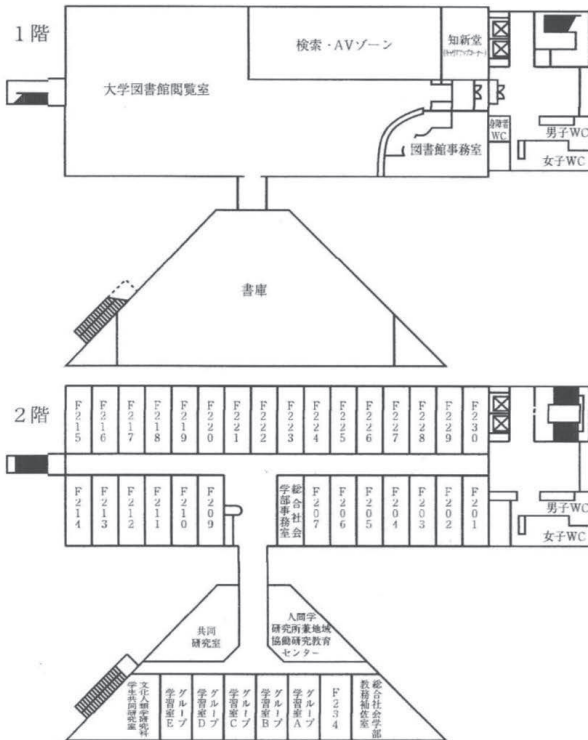
## VI 交通案内・宿泊・その他

- ◎ 本学ホームページ (<http://www.kbu.ac.jp/kbu/index.html>) あるいは、交通案内をご参照ください。
- ◎ 自家用車の入構はできません。公共交通機関をご利用ください。
- ◎ 最寄りの駅は近鉄・向島駅です。準急・各駅停車しか止まらないのでご注意ください。近鉄向島駅と大学間は無料のスクールバスが出ています。駅から北へ徒歩すぐの所にスクールバス停留所があります。ご利用ください。また、懇親会終了後、向島駅行きの臨時スクールバスが出ますので、懇親会参加の方はご利用ください。スクールバスの時刻表は、二次案内でお知らせします。
- ◎ 会員控室として、弘誓館 G101 をご利用ください。大会参加費の軽減のため、会員控室には湯茶等は用意いたしません。各自でご用意ください。会場付近に飲料の自動販売機がございますので、ご利用ください。
- ◎ ゴミの持ち帰りにご協力ください。
- ◎ 宿泊施設は、各自で手配していただきますようよろしくお願い申し上げます。この時期は秋の観光シーズンで、京都市内は混雑が予想されます。早めにご予約されることをお勧めいたします。また、近くの奈良、滋賀、大阪なども含めてご検討ください。
- ◎ 大会終了後の巡検等は準備しておりません。紅葉がきれいな時期ですので、各自京都観光をお楽しみください。また、この機会に、是非、宇治の観光をお楽しみください。京阪宇治駅、JR宇治駅の周辺は、世界遺産の平等院鳳凰堂を始め、歩いて見て回れる観光スポットがたくさんあります。
- ◎ 受付
  - (1) 一日目と二日目で受付場所が異なりますので、ご注意ください。一日目は常照館1階ホール、二日目は普照館1回ホールが受付となります。
  - (2) 受付は「事前受付」と「当日参加受付」の2つに分かれています。大会参加申し込みをされた方は、「事前受付」にお越しください。事前申し込みをされていない方は、「当日参加受付」にお越しください。なお、事前受付をされた方の要旨集録は確保しますが、当日受付の場合、要旨集録集が足りなくなり、お渡しができなくなる場合があります。参加ご希望の方は、できるだけ事前申し込みをお願いいたします。

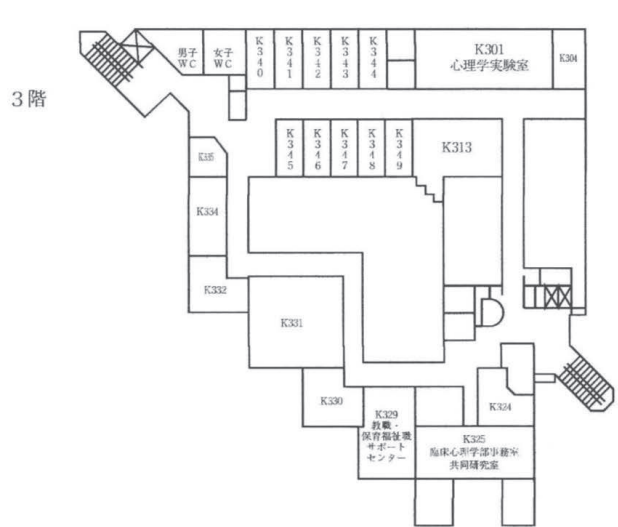
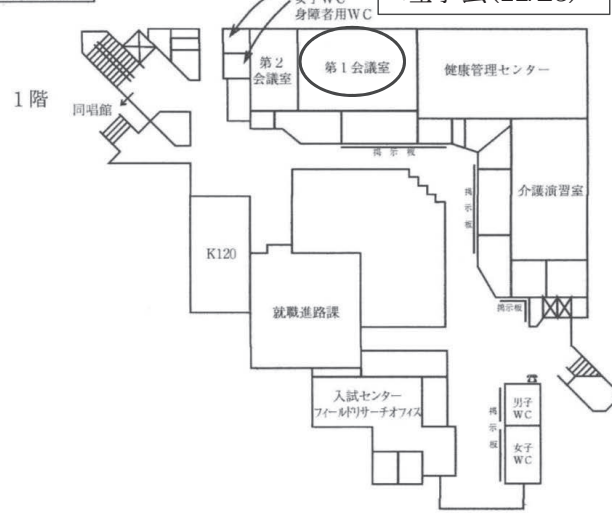
# 京都文教大学宇治キャンパス内案内



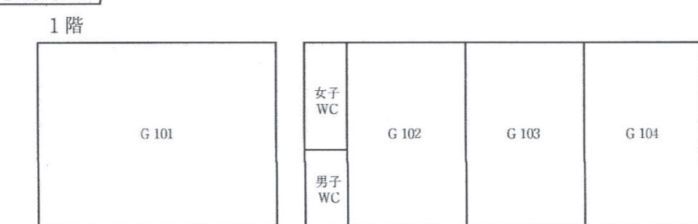
**普照館**



**光暁館**



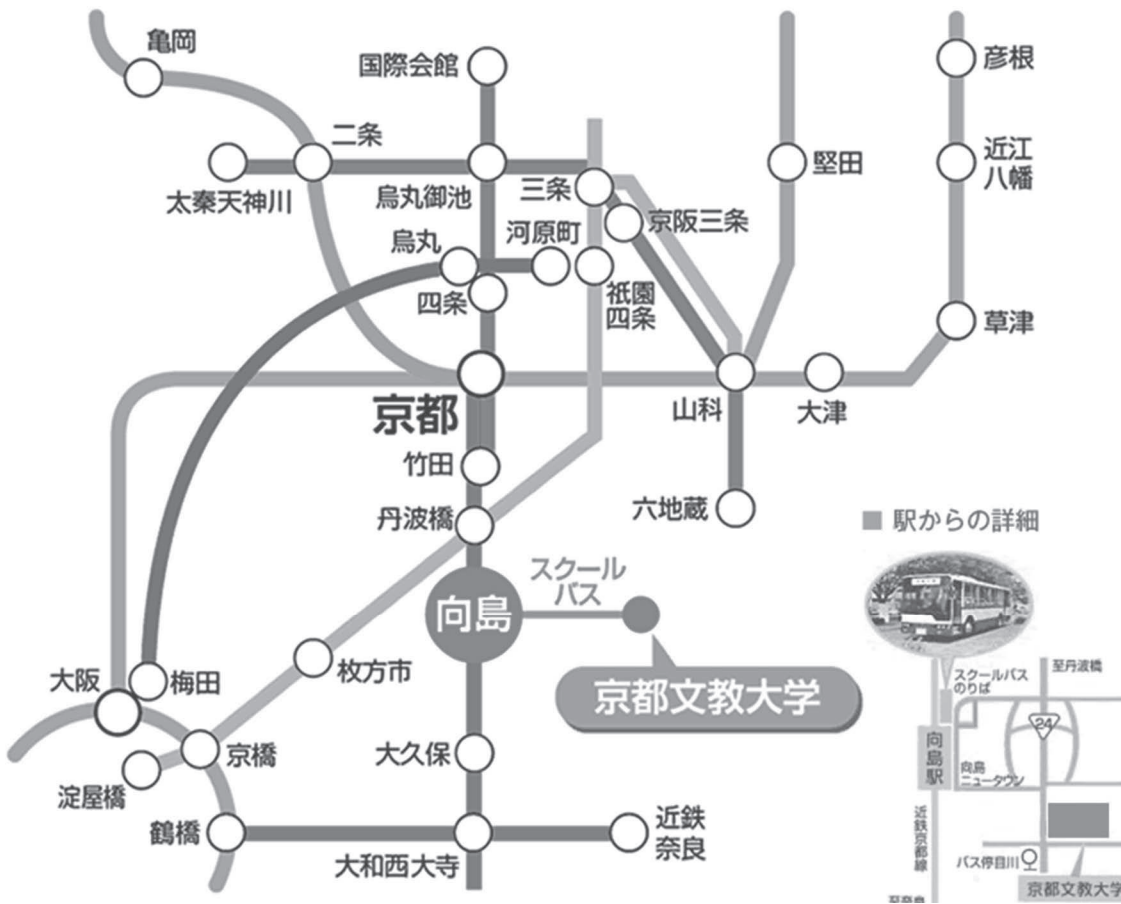
**弘誓館**



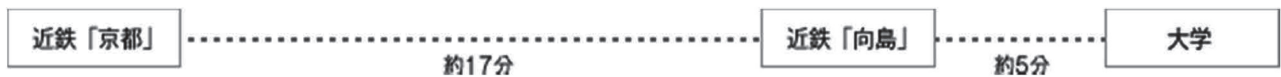
総会(11/25)  
 シンポジウム (11/25)  
 会員控室



交通案内



近鉄京都駅から (約 25 分)



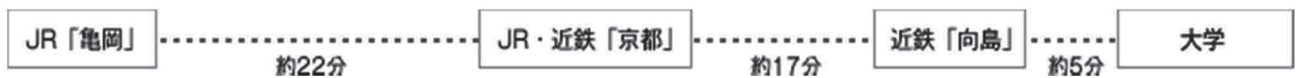
阪急梅田駅から (約 1 時間 25 分)



近鉄大和西大寺駅から (約 40 分)



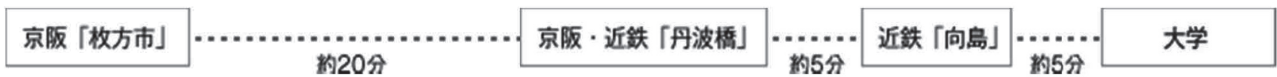
JR 亀岡駅から (約 50 分)



京阪淀屋橋駅から (約 55 分)



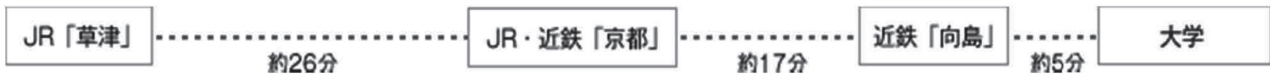
京阪枚方市駅から (約 35 分)



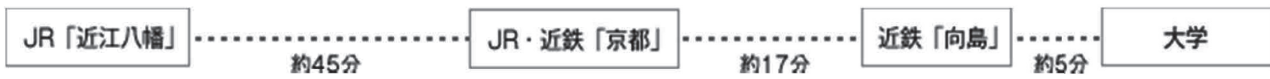
JR 大阪駅から (約 1 時間)



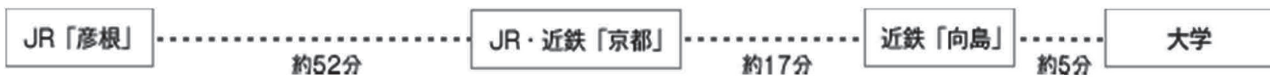
JR 草津駅から (約 55 分)



JR 近江八幡駅から (約 1 時間 20 分)



JR 彦根駅から (約 1 時間 20 分)



JR 堅田駅から (約 50 分)



京阪三条駅から (約 25 分)



※近鉄「向島」駅から本学の無料スクールバスが往復で運行しています。